

2020年8月4日

オプション検査

新型コロナウイルス抗体検査（SARS-CoV-2 IgG 抗体）のお知らせ

血液検査による新型コロナウイルス抗体検査(IgG)を開始いたします。
検査をご希望の方は、受付にお声かけください。なお、本検査は保険適用外となります。
(現在感染していることを調べる PCR 検査、抗原検査ではありません。)

現時点では、新型コロナウイルスに対する抗体反応について不明な点が多く、臨床的な意義はまだ確定できておりません。結果に関わらずコロナウイルス感染防止対策を引き続き行い、症状がでた場合には受診していただきますようお願い申し上げます。

検査試薬：アボット・ジャパン社「SARS-CoV-2 IgG 抗体」(CLIA 法)

※厚生労働省が新型コロナウイルス感染症の抗体保有率を把握するための
複数地域の住民を対象とした調査において使用されています。

※感度（陽性を陽性と判定する確率）100%、
特異度（陰性を陰性と判定する確率）99.6%の試薬です。

費用：5,500円（税込）

結果報告：健診成績表に結果を記載します。

受診後 14～21 日でご自宅またはご指定の住所に郵送いたします。

* 陽性反応がある方にはお電話でご連絡いたします。

* お電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

診断書：診断書には、「新型コロナウイルス感染症ではないと診断する」といった記載を行うことはできませんのであらかじめご了承ください。

(抗体陰性であっても直近の感染で抗体産生まで時間が経っていない場合もあり、新型コロナウイルス感染症を完全に否定することはできません。)

検査結果の見方(解釈)

IgG が陰性：感染したことがない、または感染後まだ抗体が作られていない可能性がある状態。

IgG が陽性：感染後しばらく時間が経過している。抗体がある状態。

【新型コロナウイルス抗体検査(IgG)の Q&A】

Q1：抗体検査とはなんですか？

PCR 検査・抗原検査は、現在ウイルスが体内に存在しているのかを調べるのに対し、抗体検査は過去に感染したことがあるのか、現在、感染初期なのか、感染して時間が経過しているのか、ウイルスに抵抗する能力をすでに獲得しているのかを調べるスクリーニング検査の位置づけになります。抗体は血液中に存在するため血液を採取して検査を行います。

Q2：抗体「IgG」とはなんですか？

抗体は、体内に侵入してきた病原体などを認識するたんぱく質の一種です。一般に、ウイルスに感染すると、感染早期に初期抗体（IgM 抗体）が作られ、感染後 1～2 週間後には、より強力な抗体（IgG 抗体）が作られます。血液中にこの IgG 抗体が一定以上産生された状態を「抗体がある」「免疫がある」と呼んでいます。

新型コロナウイルスの免疫については、「抗体」が作られることは確かですが、その持続期間、効果、変異への対応などの詳細は、現時点では明らかになっていません。

Q3：抗体検査の結果、陽性となった場合、どうすればいいのでしょうか？

現在症状がない方は、PCR 検査の対象にはなりません。

発熱やかぜ症状、息苦しさや強いだるさなどがある方は、かかりつけ医やお近くの帰国者・接触者相談センター、地域の相談窓口等にあらかじめ電話でご相談ください。当センターでは PCR 検査・抗原検査は行っておりません。

Q4：抗体があれば、もう新型コロナウイルスにはかからないのでしょうか？

WHO は、2020 年 4 月 24 日、新型コロナウイルス感染症にかかった人が必ずしも免疫を獲得し、再感染しなくなるとの保証はない、と発表しています。したがって、「自分は一度、新型コロナにかかったので大丈夫。」といった行動は、自身を守る観点でも他者に感染させない観点でもお控えいただくようお願いいたします。